

Theme

スパイキーLGSを用いた 傾斜地に立つ ガレージ付きの高床式平屋

地面を掘って、コンクリートを打ち込み基礎を作る、そんなことしないで
カッコいい家を作る方法があります。それが杭基礎を用いた高床式平屋
「スパイキーLGS」。強度と環境面に優れた地球にやさしいデザイン住宅です。



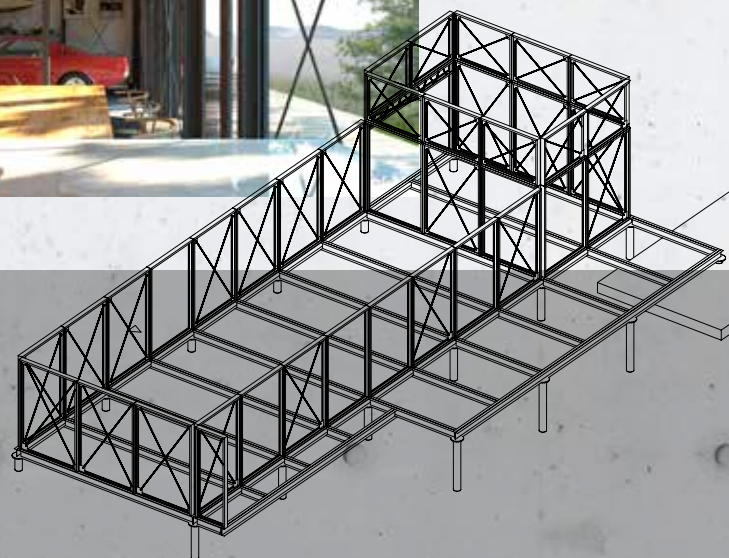
FRAMEWORK CG

大きなテーブルのリビングルームと一体になったガレージスペース。天井が高いので、いろんなものが好きに格納できます。外部の自然にのびやかに広がるデッキスペースとの一体感も貴重です。高床式が楽しい暮らしのイメージを増幅してくれます。

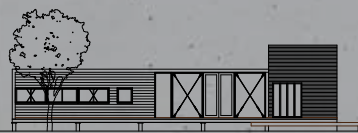
スパイキーLGSを使った実例



スパイキーLGSを使って高床式平屋に建築した実例がこちらです。シャープな直線的デザインとナチュラル素材の取り合わせのコントラストが、周りの自然に溶け込んだ印象的な建物になります。

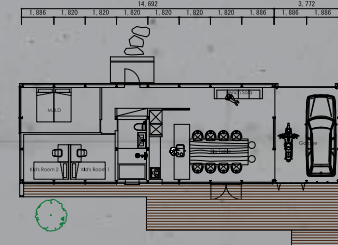


外部に対して大きく開口を設けたミッドセンチュリーデザイン。LGSパネルそのものを利用して、大きなガラス窓をローコストで作れることも特徴の一つです。天井のラインが、ガラス一枚はさんで、そのまま外部の自然に広がっていきます。



FLOOR PLAN

ガレージを含めて、3×10スパンなので30坪の居住空間です。階段や廊下がないので有効にスペースを使いられるのも平屋プランの特徴です。建物のプロポーション（縦横比率）はあくまで横長に見せていきたい。



INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめに、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田 敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

デイトナハウスは傾斜地でも建てられる高床式の平屋を実現することに成功しました。
地面に鋼管杭を打ち込む際に、精度管理を厳重に行いながら、地上に杭の頭部を残します。その上にトラックのシャシーのような鉄骨の土台をセットし、その上にお馴染みのLGSパネルを使って建てていきます。地面を踏みしめるスパイクミタいな形状になるので「スパイキーLGS」と名付けてみました。
このスパイキーの利点は、特に傾斜した敷地で発揮されます。普通の建築ならば、傾斜地では土地を掘削して擁壁を作り、平らなコンクリートを基礎にして、その上に建築するという大変な苦勞を必要とし、基礎のコストも莫大です。しかし、この工法ならば、地面にいきなり杭を打ち込むだけ。コストと時間が大変節約できるのです。しかも先述した、平屋の大事な部分であるプロポーションをはっきり強調することができるので、とても美しい建築になります。
ちなみにこの自然と調和する平屋の建築費用は、設計費別で概ね2400万円程度となっております。

今回は、自然と一体になったシャープなラインが持ち味の平屋を提案します。平屋の外観イメージは、プロポーションが大事なポイントで、縦横の比率は最も重要視したいところです。しかしその縦横比は、建物を地面に無造作に置いただけだと、認識することは難しいものです。そこで高床式の平屋という発想が出てきます。アメリカの西海岸には、そのような住宅が多数ありますが、日本の建築基準法では、基礎の定義、という言葉の壁があり、なかなか実現しませんでした。しかし地面に打ち込む杭基礎（鋼管杭）を利用することで、

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽鋼鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

